

あなたが子どもを助けることができる！

心肺蘇生法と AED（自動体外式除細動器）

もしも、あなたの目の前で子どもが倒れて、呼びかけに返事も身動きもしなくなったらどうしますか？ 救急車を呼んで、来てくれるまで平均 6 分かかります。

その間にあなたは何かができますか？

- ・心臓停止後約 3 分で 50%が死亡
- ・呼吸停止後約 10 分で 50%が死亡

大切なのは 1 秒でも早く心肺蘇生を始めることです！



心肺蘇生と AED のポイント

- ・心肺蘇生は、勇気を持って実施しましょう。
- ・胸骨圧迫(心臓マッサージ): 30回、人工呼吸: 2回を繰り返します。

AED は、心臓のリズムを自動的に解析して、心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療器械です。

操作手順を音声案内で順次知らせてくれて、誰でもできます。

市内の公共施設など人々が集まるところを中心に設置されています。

また、教育委員会管轄の小・中・高等学校には全校に設置されています。一度、心肺蘇生法の講習会に参加しましょう。

北九州市役所ホームページ (<http://www.city.kitakyushu.jp/>)

総務省消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/>) の e カレッジ(動画)

東京救急協会のホームページ (<http://www.teate.jp/>) (動画)

などで方法を見ておくのがよいでしょう。



(裏へつづく)